

事務事業評価シート

事務事業コード	031600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	総合計画進行管理事業		所属名	企画推進部	政策企画課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	全期
	政策	04	財政基盤の強化		根拠法令、根拠計画等	地方自治法、鳥取市自治基本条例
	施策	5401	財政基盤の強化			
目標の種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	内部管理
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	総合企画委員会費			予算事業コード	01-02-01-07-01-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	第10次総合計画基本計画、実施計画に定める施策、事業
意図 (どのような状態にするために)	総合計画は市政運営の方針にとどまらず、本市にかかわるすべての市民や団体などにとって、共にまちづくりに取り組む指針となるとともに、市民ニーズ、社会経済情勢に的確に対応した施策の展開を図るため。
手段 (どうするのか)	総合計画の各種施策、事業の進捗管理を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画	①進行管理内部会議の開催 ②鳥取市総合企画委員会の開催	①進行管理内部会議の開催 ②鳥取市総合企画委員会の開催	①進行管理内部会議の開催 ②鳥取市総合企画委員会の開催 ③後期実施計画(H30～32)の策定	①進行管理内部会議の開催 ②鳥取市総合企画委員会の開催 ③市民アンケート調査の実施	①進行管理内部会議の開催 ②鳥取市総合企画委員会の開催 ③次期総合計画の策定
	年度別実績	①進行管理内部会議の開催 ②鳥取市総合企画委員会の開催(3回)				
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	428	0	0	0	0
	直接経費 A	428	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	428	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	総合企画委員会の開催回数	回	目標	3	3	3	3	3	
				実績	3	0	0	0	0	
	(指標の説明) 総合企画委員会の開催回数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 創生戦略室 0857-20-3160</p> <p>【10次総の施策体系】 5401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P35（企001）</p> <p>【事業の概要】 本市では、「鳥取市創生総合戦略」を「第10次鳥取市総合計画」の重点施策に位置づけ、政策・施策を展開しており、本事業において、その施行状況等についての進行管理を実施しているもの。</p> <p>【事業の効果】 政策・施策の実施状況について、重要業績評価指標（KPI）等を基に評価と事業改善に係る意見をいただき、市政運営の適正化を図ることができた。 ＜KPI（重要業績評価指標）の達成状況＞ 平成27年度 達成・順調 87件／やや遅延・遅延 15件／未着手 6件 平成28年度 達成・順調 92件／やや遅延・遅延 15件／未着手 1件 ＜総合企画委員会の開催実績＞ 平成27年度 年7回開催（委員数22人） （鳥取市人口ビジョン及び創生総合戦略の策定、第10次鳥取市総合計画の策定） 平成28年度 年3回開催（委員数20人） （第10次鳥取市総合計画－前期実施計画の策定、創生総合戦略の検証）</p> <p>【今後の取組】 着実に計画・戦略を進めていくために、それぞれの進捗状況等を把握・分析し、より成果を重視した進行管理を目指していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	総合企画委員会の開催回数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> <small>市政運営の根幹業務。詳細な業務内容の見直しは可能だが、基本は現状維持。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	031700	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	ふるさと納税推進事業		所属名	総務部総務調整局 市民税課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の まちづくりの	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成20年度 ~ 全期
	政策	04	財政基盤の強化		根拠法令、 根拠計画等	地方税法
施策	5401	財政基盤の強化				
目標の 施策の	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	その他
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ふるさと納税推進事業費			予算事業コード	01-02-02-01-03-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全国の納税者
意図 (どのような状態 にするために)	ふるさと納税制度を利用した本市への寄附者と寄附金額の増加を図るとともに本市の魅力伝えていく。
手段 (どうするか)	ふるさと納税専用サイトの運営、外部ポータルサイトの活用、ウェブ広告をはじめ様々な媒体を活用したPRを実施するとともに、一定額以上の寄附者へ地元産品等を進呈する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①ふるさと納税専用サイトの適正運営 ②様々な媒体を活用したPRと寄附金の受領	①ふるさと納税専用サイトの適正運営 ②様々な媒体を活用したPRと寄附金の受領	①ふるさと納税専用サイトの適正運営 ②様々な媒体を活用したPRと寄附金の受領	①ふるさと納税専用サイトの適正運営 ②様々な媒体を活用したPRと寄附金の受領	①ふるさと納税専用サイトの適正運営 ②様々な媒体を活用したPRと寄附金の受領	
	年度別実績	①特段のトラブルもなく、安定稼働することができた。 ②外部ポータルサイトの活用等により寄附件数・金額を伸ばすことができた。					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	189,968	0	0	0	0	
	直接経費 A	189,968	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	11	0	0	0	0
一般財源	189,957	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	ふるさと納税を利用した本市への寄附件数	件	目標	22000	23500	25000	25500	26000	
				実績	24762	0	0	0	0	
	(指標の説明) ふるさと納税を利用した本市への寄附件数									
	2	ふるさと納税を利用した本市への寄附金額	千円	目標	360000	380000	400000	410000	420000	
				実績	378441	0	0	0	0	
	(指標の説明) ふるさと納税を利用した本市への寄附金額									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 税制係 0857-20-3411</p> <p>【10次総の施策体系】 5401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P20（総調018） 12月補正・P05（総調004） 2月補正・P06（62） 専決補正</p> <p>【事業の概要】 「ふるさと納税」制度のPRと制度を利用した本市への寄附者及び寄附金額の増加を図るため、パンフレット作成、WEBを通じたPRなどを行うとともに、寄附者へのお礼の品として地元企業等の協賛による「鳥取ふるさとプレゼント」を進呈することにより、地元産品のPRのみならず本市の魅力を伝えていく。</p> <p>【事業の成果】 本市への寄附者及び寄附金額は順調に増加している。 <ふるさと納税による寄附件数及び寄附金額> 平成24年度 607件 12,125千円 平成25年度 7,576件 128,720千円 平成26年度 12,218件 241,918千円 平成27年度 18,583件、352,392千円 平成28年度 24,762件、378,441千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も、ふるさと納税を通じて本市のPRを図るとともに財源の確保に努めていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	ふるさと納税を利用した本市への寄附件数	113%				
	2	ふるさと納税を利用した本市への寄附金額	105%	105%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	年間を通じて、ふるさと納税専用サイトの安定稼働と継続性のある広報を実施することができたため。
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	28年度の寄附受け入れ実績は、24,762件、378,441千円となっており、目標を上回る成果を上げることができたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

新たな財源を得るだけでなく、地元特産品等を活用した本市の知名度アップのツールとして、とても有効な事業であるため、引き続き取組を強化していく必要があるものとする。

事務事業評価シート

事務事業コード	031800	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	人材育成事業		所属名	総務部 職員課	

1. 基本情報

位置づけ の 実施 目標 の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	04	財政基盤の強化		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	5401	財政基盤の強化			
目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	内部管理	
指標設定なし		0	0	運営方法	直営	
		0	0	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名	研修関係事務費			予算事業コード	01-02-01-02-03-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市職員（一部臨時・嘱託含む）
意図 (どのような状態 にするために)	地方創生の取組、複雑多様化する行政ニーズ、社会情勢などに的確に対応でき、また中核市にふさわしい職員の育成を推進する。
手段 (どうするのか)	各種研修への職員派遣の推進及び自主研修の充実、自己啓発の取組推進を図り、受講促進することで職員のスキルアップを図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①派遣研修の推進 ②自主研修の充実 ③自己啓発の促進	①派遣研修の推進 ②自主研修の充実 ③職場研修(OJT) の充実	①派遣研修の推進 ②自主研修の充実 ③職場研修(OJT) の充実	①派遣研修の推進 ②自主研修の充実 ③人事評価を通じての 人材育成推進	①派遣研修の推進 ②自主研修の充実	
	年度別実績	①派遣研修の推進(受 講促進を図り前年度比 43人増) ②新たにワークライフ バランス研修、キャリア アップ研修を実施 ③eラーニングの受講 促進(受講者7人増)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	21,737	0	0	0	0	
	直接経費 A	21,737	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	21,737	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	受講率	%	目標	90	0	0	0	0
		実績			91.4	0	0	0	0
	(指標の説明) 対象者に対する受講率								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】厚生係 0857-20-3108</p> <p>【10次総の施策体系】5401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P7（総013）</p> <p>【事業の概要】 1 派遣研修により集中的・専門的に受講することで、職員の知識・能力の向上を図る。 2 自主研修を計画的に実施し、市職員に必要な基本的知識の習得を図る。</p> <p>【事業の成果】 1 派遣研修 自治大学校：2名、市町村職員中央研修所：19名、日本経営協会研修他：38名、鳥取県職員人材開発センター委託研修へ派遣 2 自主研修 定住自立圏共生ビジョン合同職員研修、コーチング研修、人権研修、健康管理研修、ハラスメント防止研修、ワークライフバランス研修、キャリアアップ研修等 《実績》H26年度・・・2,294名：19,089千円、H27年度・・・2,994名：18,546千円、H28年度・・・3,090名：17,998千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 1 派遣研修 直接のレベルアップにつながる研修内容の把握に努め研修へ派遣。 2 人材育成基本方針、職員研修計画に基づき、中核市職員にふさわしい人材育成を目指し、必要な研修を計画的に実施していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	受講率	102%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>人材育成基本方針、職員研修計画に基づき研修の実施・派遣を行い、職員の人材育成に取り組んだ。今後もより一層取組みを充実し、効果を上げていく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	031900	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	行財政改革大綱等推進事業		所属名	総務部 行財政改革課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間
	政策	04	財政基盤の強化		根拠法令、 根拠計画等
施策	5401	財政基盤の強化			
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	内部管理
	指標設定なし	0	0	運営方法	直営
		0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	行財政改革大綱等推進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-01-06

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市の行財政運営
意図 (どのような状態 にするために)	将来にわたる強固な財政基盤と、市民満足度の高い行政サービスの提供
手段 (どうするのか)	「鳥取市行財政改革大綱」および同実施計画の策定と、着実に実行するため進行管理を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		①第6次大綱の進捗管理 ②市民委員会の開催	①第6次大綱の進捗管理 ②市民委員会の開催	①第6次大綱の進捗管理 ②市民委員会の開催 ③第6次大綱実績の取りまとめ	①第6次大綱の進捗管理 ②市民委員会の開催 ③第7次行革大綱の策定	①第7次行革大綱の進捗管理 ②市民委員会の開催		
年度別実績	①第6次大綱の進捗管理(78事業のうち10事業を完了し、新たに6事業を追加) ②市民委員会を5回開催(中間報告案作成)							
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業費	事業費(A+B)		190	0	0	0	0	
	直接経費 A		190	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県		0	0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	一般財源		190	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	個別事業に対する外部評価の実施件数	件	目標	4
			実績	4	0	0	0	0
	(指標の説明) 行革大綱実施計画のうち、担当課との意見交換も含めた外部評価を実施した事業件数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 行政経営係 0857-20-3164
	【10次総の施策体系】 5401
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P04（総008）
	【事業の概要】 経費の削減や事務の整理・合理化等の行財政改革を推進していくために、設置している私的諮問機関である行財政改革推進市民委員会を運営していくための経費。市民委員会においては、第6次行財政改革大綱の進行管理を行った。 ○根拠計画 第6次鳥取市行財政改革大綱（構想期間：平成27～31年度）
	【事業の成果】 第6次大綱の実施計画を対象に市民委員会を開催（5回）し、外部評価を実施した。外部評価の結果、各実施計画に対する個別の提言等を取りまとめた中間報告案を作成するとともに、大綱の進捗管理方法全般への指摘を基に、大綱掲載事業の追加・完了に関するルール策定のほか推進担当課の自己評価のためのマニュアル作成を行った。 (決算額推移) 平成26年度 405千円、平成27年度 338千円、平成28年度 190千円
【今後の課題・方向性】 委員に対し、各事業の内容を理解していただくための、説明や資料を強化していく必要がある。今後は中間報告内容を基に、各実施計画の推進を図る。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	個別事業に対する外部評価の実施件数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>中間評価を基にした事業進捗管理、年度評価も予定どおり完了した。各実施計画の推進に当たっては市民委員会による外部評価結果で得られた改善策の提言なども踏まえながら、各事業の効果を高めていく必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	行政経営システム管理事業		所属名	総務部 行財政改革課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成27年度 ~ 全期	
	政策 施策	04 5401	財政基盤の強化 財政基盤の強化		根拠法令、 根拠計画等		
目標の種類			平成28年度	平成32年度			
施策の 目標	指標設定なし			0	0	事業分類区分	内部管理
				0	0	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	行政経営システム管理事業費			予算事業コード	01-02-01-07-01-43	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市の行政経営システム
意図 (どのような状態 にするために)	本市の将来像の早期実現を目指し、市長公約・議会答弁等を踏まえた喫緊の政策課題を経営層全体の意思決定で解決していく。
手段 (どうするか)	部局や職階にとらわれず政策議論を交わし、幹部職員の総意で、予算、人員、組織配分の基本的な方向性を決定する仕組みを構築。経営層による政策の共有化、挑戦する組織への変革、職員への経営意識の醸成等を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①行政経営システムによる取り組みの進行管理	平成29年度 ①行政経営システムによる取り組みの進行管理 ②行政経営システムの取り組みによる成果検証	平成30年度 ①前年度実施する検証結果を踏まえた取り組みの見直し	平成31年度	平成32年度		
	年度別実績	①行政経営システムによる取り組みの進行管理(平成29年3月の戦略幹部会議において全体の進捗状況を報告)						
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業費	事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	直接経費 A		0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県		0	0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業検証実施割合	%	目標	100	100	0	0	0	
				実績	100	0	0	0	0	
		(指標の説明)								
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)								
	3				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)								

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 行政経営係 0857-20-3164</p> <p>【10次総の施策体系】 5401</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 <事業の経過及び背景> 平成16年3月19日に、品質における国際規格（ISO9001）を認証取得し運用してきたが、3回（9年間）の更新審査を終え、平成24年度末をもって国際認証を返上し、本市独自の運用を行なっている。</p> <p>【事業の成果】 これまで培ったスキルを活かし、本市独自のマネジメントシステムを構築し、有効に機能させ、各組織が提供する行政サービスの品質を向上させるとともに、総合計画、行財政改革大綱の実効性を高める。 <事業の内容・実績> ○行政経営システムの進行管理 平成28年度は、平成26・27年度に採択された案件のうち継続検討中であった、7件について研究を進め、4件を事業化、残りの3件については、事業化断念といった判断がなされ、これにより、全ての提案案件に対し方向性が示されることとなった。 なお、平成27年度までに事業化済みの17件については、継続実施：14件、事業終了：3件という方向性が示されている。 ※平成28年度は予算執行なし</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度以降取り組む事業について、引き続き、進行管理を行うとともに、この取り組みによる成果等の検証結果も踏まえながら、庁内の自由闊達な議論をより高めるための仕組みを研究する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	事業検証実施割合	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>限られた行政経営資源を最大限に活用し、事業に係る成果と市民満足度を最大化させるためには、各部署で実施する取組みとの連携も図りながら、効率的、かつ、効果的な運用方法について検討する必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032100	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	債権管理運営事業		所属名	総務部総務調整局 債権管理課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	全期
	政策	04	財政基盤の強化		根拠法令、 根拠計画等	地方税法、国税徴収法ほか
	施策	5401	財政基盤の強化			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	内部管理
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	債権管理運営費		予算事業コード	01-02-02-02-04	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市の債権管理及び市税・国民健康保険料の検収事務
意図 (どのような状態 にするために)	予定された歳入の確保に向けて、債権を確実に管理・回収する取り組みを行い、市民負担の公平性と公正な市政推進を図るため、債権の適正な管理を推進する。
手段 (どうするか)	全庁的な債権管理の進捗を統括するとともに、問題点の共有・解決を図ることで未収金の縮減を推進する。また、コンビニ納付やペイジーによる口座振替手続きの簡素化などを推進することで利便性の向上を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①債権回収の推進	平成29年度 ①債権回収の推進 ②債権管理方針の検証	平成30年度 ①債権回収の推進 ②債権管理方針の見直し	平成31年度 ①債権回収の推進	平成32年度 ①債権回収の推進
	年度別実績	①部会、研修会の開催による全庁的な意思統一、債権管理の意識向上を図るとともに債権所管課のヒアリングを行い債権管理に関する進行管理を行った。 移管徴収実績:257件				
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	12,214	0	0	0	0
	直接経費 A	12,214	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	12,214	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		公債権、私債権の移管件数(総数)	件	目標	120	200	250	0	0	
				実績	257	0	0	0	0	
	(指標の説明) H28は公債権、私債権の徴収事務だけでなく債権の調査事務も移管を受けた。H29以降は徴収事務のみ。									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								
	3		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】債権回収係 0857-20-3435</p> <p>【10次総の施策体系】5401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P17（総調012）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 徴収事務 (1) 債権管理事務（滞納整理のための支払督促、差押等の印紙代及び切手代等） (2) 検収事務（口座振替通知書等の印刷費及びコンビニ収納取扱手数料他）</p> <p>2 滞納整理を効率的に実施するための研修会参加及び県外講師を招いた研修会の開催</p> <p>【事業の成果】 部会、研修会の開催による全庁的な意思統一、債権管理の意識向上を図るとともに、債権所管課のヒアリングを行い債権管理に関する進行管理を行った。 移管徴収実績：168件、8,996,137円 徴収移管及び調査件数：257件</p> <p>【今後の課題・方向性】 定期的な研修会の開催や債権管理ヒアリング等の実施による債権管理の意思向上や全庁的な意思統一を推進するとともに、債権所管課における滞納整理に係る事務能力向上に向けたサポートを行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	公債権、私債権の移管件数(総数)	214%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	目標を上回る債権の徴収移管及び調査事務を行った。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	目標を上回る債権の徴収移管及び調査事務を行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

全庁的に債権所管課における債権管理の進捗を管理するするとともに、問題点の共有・解決を図ることで未収金の削減を進めていく。また、債権を管理する所管課職員を対象とした研修会を開催し、徴収に関する意識の向上や債権管理のノウハウの蓄積及び滞納処分等手法の浸透を図る。
また、コンビニ納付やペイジーによる口座振替手続きの簡素化などを推進し、納付義務者の利便性向上を図る。